



東串良町立池之原小学校 学校だより 令和5年度  
**はばたけ! けやきっ子** 12月12日新

生まれた所や皮膚や目の色で いったいこの僕の何がわかるというのだろう  
 校長 上葉智明

**ともかくも あなた任せの としの暮 小林一茶**

12月。別名師走。「しわす」の由来は、十二月は僧(師)を迎えて経を読ませるため「師が走る」ことからが定説。他に「歳極(としはつ)月」または「成し終わる月」が転訛したという説もあります。その他、季冬、暮歳、春待月、暮古月とも称されます。



冒頭の「生まれた所や皮膚や目の色で いったいこの僕の何がわかるというのだろう」はザ・ブルーハーツ(日本のロックバンド;1985年~1995年)が1989年に発表した楽曲『青空』の歌詞の一部です。今から30数年前の曲ですが、出自や人種による差別の存在、見た目や偏見で人を判断する人間の弱さや愚かさを聴く人に考えさせる名曲です。

1948年12月10日の国際連合第3回総会において世界人権宣言が採択されたことを記念して、我が国においては、1949年から毎年12月4日~12月10日の1週間を「人権週間」と定めました。本校でも今年度は、12月4日~9日を校内人権週間と設定し、子供たちが改めて人権について考える取組を進めてきました。取組の内容については、次号で紹介する予定です。

鹿児島県は、令和2年3月に策定した「鹿児島県人権教育・啓発基本計画(2改訂)」において、今後解決していくべき人権問題を挙げています(右を参照)。

我々の身の回りには、身近で多様な人権問題があることに気付かれたことと思います。これらの人権問題を解決するためには、私たち一人一人が「人権は自分自身の生活に深く関わる自らの課題である」という認識をもち、それに対する理解を深めることが大切です。

また、ここ数年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、感染者及び濃厚接触者とその家族に対する誤解や偏見に基づく差別の問題が指摘されたことは、皆さんの記憶に新しいことと思います。このように、人権に関する問題は、時代によって新たに生み出されることがあり、常に人権についての感覚をもち続ける必要があります。

この機会に、各自が様々な人権問題を改めて自分自身の課題として捉え、ご家族や地域等で人権について考えるきっかけにさせていただきたいへんありがたいです。

**鹿児島県人権教育・啓発基本計画 (2次改訂) P20~63**

- 女性の権利
- 高齢者の権利
- 同和問題(部落差別)
- HIV感染者・ハンセン病元患者等の権利
- 犯罪被害者等の権利
- 北朝鮮当局による拉致問題等
- 性的指向・性自認に係る権利
- その他の人権問題
  - ・ 刑を終えて出所した人等
  - ・ 人身取引
  - ・ 生活困窮者
  - ・ アイヌの人々
- インターネット社会における人権問題
- 災害時の人権問題
- 子どもの権利
- 障害者の権利
- 外国人の権利

**日新公いるはうた**

知恵能は 身に付きぬれど 荷にならず 人は重んじ 恥ずるものなり

【大意】 知恵や芸能は、身に付けても荷にも邪魔になるようなものでもない。多くのものを習って上手になるべきである。世の中の人はその人を見て尊敬し、かつ己の及ばないことを恥じるだろう。知恵や芸能は、いくら身に付けても邪魔にならず人から尊敬されます。逆に、学ぶことを怠ってきた人は自分を恥ずかしく思うことでしょう。日新公が生きた当時は、学ぶことが困難な時代でした。それでも向学心があったのです。学ぶことは学校だけでなく、生涯いつでも学ぼうとする人は魅力的に映ります。

**がんばって走りました!** 11月29日(水)開催の校内持久走大会では、たくさんの保護者や地域の皆様の応援ありがとうございました。

校内持久走大会は、学校近くの三角公園内及び周辺道路を1・2年生は800m、3・4年生は1200m、5・6年生は1600mの距離を子供たちは元気に走りました。各自の設定した記録を達成・更新するために、毎朝や授業等でがんばって走る姿が見られ、それぞれ持久力も向上したようです。

閉会式の講評でも子供たちに話しましたが、持久走大会をゴールではなく、新たな体力づくりのスタートとして、毎日少しずつでも体力づくりに取り組むことにより、寒い冬を健康に過ごしてほしいものです。

なお、持久走大会を開催するにあたり、PTA安全補導部の皆様に交通整理等をしていただきありがとうございました。



**集団宿泊学習に行ってきました** 11月15・16日の二日間、5年生は国立大隅青少年自然の家で集団宿泊学習を行いました。

1日目は午後に万滝にハイキングに行った後、夜は灯火のつどいを行いました。

2日目は創作活動として革細工作りに取り組みました。一泊二日の活動を通して子供たちは、自然体験の中で、自然に親しむことができました。

また、集団生活を通して、友達等と一緒に生活する良さや大変さも経験し、集団で行動する際の心構え等を学ぶことができましたようです。



早いもので2学期が終わろうとしています。毎回お知らせしていますが、むし歯治療率は57.9%(12月9日現在)で、まだ治療が終わっていない児童は64名となりました(先月より2人減っています)。

一日も早く治療することにより、お子さんが健康な歯で新しい年を迎えることができるようご理解ご協力よろしくお願いいたします。

**大切な命を守るために**

11月11日(土)に、町の防災訓練に合わせて津波を想定した避難訓練を行いました。地震の情報を聞いた子供たちはすぐに机の下にかくれ、その後校庭に避難しました。

地域の方々や保育園の子供たちも校庭に避難したことにより、いつもと違う雰囲気緊張感の中での避難となりました。

地震や津波、火災等の災害から大切な命を守るため、避難場所や準備しておく物や心構え等について、普段からご家族で話し合っていたいただければと思います。



**レッツトライ6** 池之原小特別支援教育コーディネーター わかば学級組担任 木佐貴 陽子 文責

子どもの脳を育てるよいペアレンティングの重要な6項目の2番目『調和の取れたスムーズなコミュニケーションを図る』のポイントは、

- ① あいまいな言葉をはっきりさせる。  
「あとでね」→「〇〇がすんだらね」
- ② 「言った、言わない」を減らす。伝えたいと思うことは「シンプルにまとめて」「わかりやすい言葉で」「脳に入りやすい環境を整えて」伝えます。さらに伝えたいことは確認を怠らないこと。
- ③ イメージをわかって言葉を引き出す。伝わりやすい表現や手段を工夫したり、できるだけ経験を積みせたりして「おりこうさんの脳」の知識の量を増やす努力をしなければなりません。
- ④ 混乱を受け止める会話をする。子どもが、もっとも大人に求めていることは、「まず、気持ちをうけとめること」です。「そっか~、〇〇なの?」  
親子のコミュニケーションで知識が蓄積されます。

**12・1月の主な行事**

- 12月**
- 16日(土) PTA 門松作り, しめ縄飾り作り
  - 22日(金) 第2学期終業式
  - 23日(土) 冬休み~1/8
- 1月**
- 9日(火) 第3学期始業式
  - 12日(金) 東串良中入学説明会(6年)
  - 13日(土) 土曜授業 昔の遊びを楽しもう(1年)
  - 16日(火) 鹿児島学習定着度調査(5年)~17日
  - 20日(土) 漢字検定(午前) 6年学年レク(午後)

